

活動名	夢を育てよう！第2弾！親子運動教室 (正しいモデルから学ぼう)	団体名称	NPO法人プラスワン
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動目的	⑤障がい、難病の子どもへの支援活動

■活動結果(概要)	■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容
平成29年9月より毎月1回 土曜日にスタジオじゆう運動教室を開催、発達面が気になる未就学児とその家族が参加し、法人内デイサービスおむすびの児童達と交流しながら運動を楽しむ機会を提供した。 また、子育てや福祉に関する勉強会を年3回開催した。	スタジオじゆうの運動教室 11回/年 保護者向け勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年9月より毎月運動教室開催 ・H30.1 座談会「ママ達の主張」 障がいのある子どもを育てながら相談支援専門員として働いている先輩たちをお招きし、日頃障がい児を育てながら悩んでいるお母さん達との交流会を開催。 ・H30.6月 就学・進路についての勉強会を実施。また、中高校を対象に、特別支援学校と地域の学校との違いについて勉強会を実施。 ・H30.8月 障害年金についての勉強会の実施。

■活動目標	スタジオじゆうの運動教室については参加した子どもたちが正しいモデルを通し指導員や子どもたちという集団の中で関わりを持ちながらソーシャルスキルを習得していく。また、保護者同士の情報交換の場としての役割を果たす。
-------	--

■長期成果	上記の運動教室で子どもたちが運動を通しソーシャルスキルを学ぶことと、保護者向け勉強会を開催することで、保護者の子育ての不安を軽減する。また、母親同士が情報交換できる場として活用する。
-------	---

活動風景



ママ達の座談会



スタジオじゆう



障害年金セミナー

■得られた成果と今後の課題	■受益者や地域社会の変化	■得られたノウハウの共有・発信
<p>(得られた成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のスタジオじゆう体操教室は、チラシを郵送し普段から利用されている方に周知するとともに、市内の子育て支援センターや保健センターに掲示、また、療育施設では未就学児を対象に園で配っていただくことができた。それにより新たに参加される方も増えてきている。 ・今回1月に開催した、障がい児を育てるお母さん達が日頃悩んでいること、将来のことなど気軽に話し合える場を設けた。当日は大雪にも関わらず、10名以上の参加があり、高校卒業後の進路について、親亡き後について語り合うことができた。 ・就学相談会では、対象を小学校5、6年の保護者、中学3年生とし、特別支援級、特別支援学校の違いや選び方について講師と考えることができた。また、障がい年金については高校生以上の保護者と16～19歳を集め、20歳で手続きができる知識を深めることができた。 <p>(今後の課題)</p> <p>さらに新たな参加者の募集方法を検討すること、補助金が終了するため、今後の運営をどうするかという大きな問題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加している子ども達の中にも、最初は母親から離れない、あるいは体育館に入れないという方もおられたが、2、3回目から入れるようになり、母親から離れて他の児童や先生と楽しむことができるようになった。 参加している子ども達の多くが新しい環境への適応に時間がかかる為、毎月開催することで少しずつ本来の活動に参加できるようになってきたと実感している。また、集中力のない児童や指示が通らない児童も、講師のメリハリのある指示、母親、指導員に見守られての中では落ち着いて過ごすことができていた。 ・地域社会の変化については、地域のコミュニティセンターや体育館を利用することで他の利用者や、管内の職員の方と話をしたり、活動の前後に挨拶をするという習慣が付いた。 	<p>今回は、じゆうの運動教室を定期的で開催するとともに講師によるセミナー、また、母親達が集まり日頃の悩みや心配を話してできる場を設けることで、相談員、デイサービス職員が様々な年齢の子ども達の保護者と話し、知り合うことができた。</p> <p>年齢により悩みが変化が違うこと、その年齢に応じて親がやらなければならない重要課題、決断することがあることについて、理解を深めた。これらの取り組みを通じて、今後もその年代に応じた活動や支援を検討し、障がい児とその家族と一緒に地域で楽しむ、さらに、より良い生活の場づくりに様々な関係機関と連携しながら努力していきたい。</p>

〒 939-0311
(住所) 富山県射水市黒河新4920-1
(団体名) NPO法人プラスワン

助成金額
180,000円

助成期間

H29.9.1～H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。